



増 毛 町

町勢要覧資料編

〈令和3年〉



増毛町フォトコンテスト2020最優秀賞「春の暑寒別川」(佐藤心一さん)

1. 自然・地勢

増毛町は、北海道の北西の日本海に面し、留萌振興局管内の南端に位置しています。

東は留萌市、南は暑寒別岳を主峰とする増毛山地を囲む形で、北竜町・雨竜町・新十津川町・石狩市に接しています。南北に約 24.4 km、東西に約 30.2 km、北西には約 38 kmの海岸線を有し、総面積は 369.71 km²で、東京都の約6分の1の広さです。

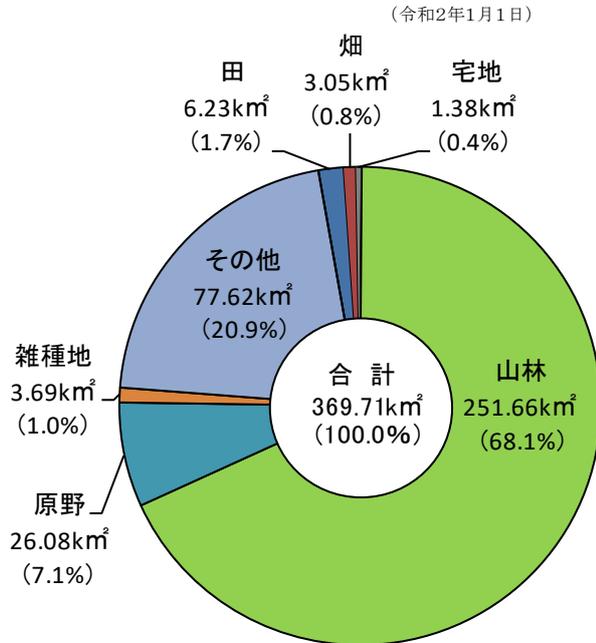
●面積・位置

面積	位置	
	経度（東経）	緯度（北緯）
369.71km ²	最東141° 42' 17" （東仁奈良）	最南 43° 41' 04" （群別岳東南）
	最西141° 20' 15" （鮠島）	最北 43° 54' 12" （阿分一番村川岸）

山地から北流する河川は、短く急流で狭い堆積平野をつくり、この平野と海岸線に集落が発達しました。沿岸は豊富な魚類に恵まれ古くから漁業が栄え、また、温暖な気候により、肥沃な平坦地では水稻・果樹栽培などの農業も盛んです。

別荘から雄冬までの海岸は、暑寒別連峰の山裾を日本海の荒波が削った豪壮な絶壁が約20kmにわたって続いており、奇岩・怪岸の海蝕崖として、暑寒別天売焼尻国定公園の重要な景勝地となっています。

●土地利用面積



●気温・降水量・風速・積雪

	平均気温 (°C)	月最高気温 (°C)	月最低気温 (°C)	降水量 (mm)	平均風速 (m/s)	最深積雪 (cm)
						(令和2年)
1月	-2.3	4.7	-9.2	19.5	5.4	34
2月	-2.3	8.5	-16.3	19.5	4.8	33
3月	2.8	13.5	-4.3	62.0	4.4	17
4月	5.6	19.0	-2.4	55.5	3.8	—
5月	11.9	22.7	2.2	78.5	3.7	—
6月	16.7	26.0	10.2	55.5	2.9	—
7月	20.0	26.8	13.1	15.5	2.1	—
8月	21.5	33.2	11.9	194.0	3.1	—
9月	19.3	30.6	11.1	88.5	2.5	—
10月	12.2	23.6	3.7	247.0	4.5	—
11月	6.2	17.8	-1.6	196.0	6.2	12
12月	-1.4	6.2	-16.3	69.0	7.6	67
令和2年平均	9.2			91.7	4.3	
令和元年平均	9.0			69.8	4.6	
平成30年平均	8.6			110.0	4.5	
平成29年平均	8.2			68.5	4.5	
平成28年平均	8.4			66.4	4.7	

旭川地方気象台データより（※最深積雪値は、留萌市データを参考記載）

気候は、概して日本海岸気候の特徴を有し、年間を通じて風の強い日が多く、特に冬季はしばしば暴風雪となります。四季における気候は、冬季が湿潤寒冷で、夏は短いが高気温が高く、春季及び初夏には空気が乾燥し、晩夏から秋にかけて多雨となります。

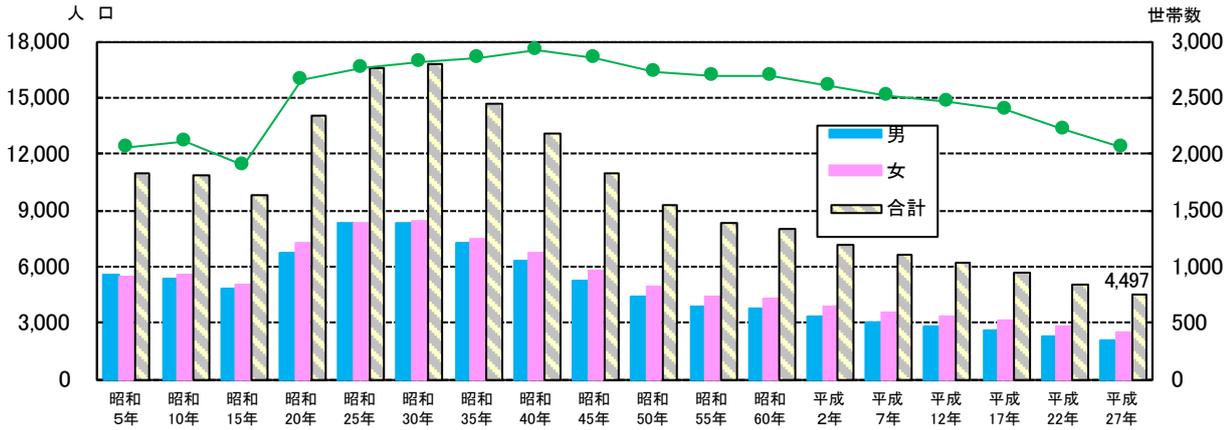
●暑寒別天売焼尻国定公園の概要（平成2年指定、全国55番目）

（単位:ha）

暑寒別地域								天売焼尻地域	6市町
石狩市	厚田区		新十津川町	雨竜町	北竜町	増毛町	小計	羽幌町	合計
	厚田区	浜益区							
8,686	504	8,182	7,020	7,080	1,846	17,846	42,478	1,081	43,559

2. 人 口

●国勢調査による人の動き



●人口の推移

(平成27年国勢調査)

調査年	人 口			世帯数
	男	女	計	
昭和5年	5,530	5,423	10,953	2,061
昭和10年	5,347	5,544	10,891	2,108
昭和15年	4,770	5,008	9,778	1,903
昭和20年	6,773	7,224	13,997	2,656
昭和25年	8,283	8,269	16,552	2,764
昭和30年	8,352	8,416	16,768	2,817
昭和35年	7,226	7,431	14,657	2,850
昭和40年	6,318	6,745	13,063	2,912
昭和45年	5,216	5,746	10,962	2,851
昭和50年	4,349	4,963	9,312	2,727
昭和55年	3,895	4,424	8,319	2,693
昭和60年	3,753	4,258	8,011	2,686
平成2年	3,328	3,838	7,166	2,606
平成7年	3,060	3,592	6,652	2,512
平成12年	2,797	3,370	6,167	2,461
平成17年	2,563	3,145	5,708	2,389
平成22年	2,295	2,783	5,078	2,208
平成27年	2,024	2,473	4,497	2,051

※国勢調査の人口・世帯数：総務省統計局発表のデータより

●地域別世帯数及び人口

(平成27年国勢調査)

地 域	男	女	人 口 数	世 帯 数	1世帯当 たり人員
雄 冬	34	29	63	32	2.0
岩 老	10	7	17	7	2.4
別 苺	209	272	481	229	2.1
暑 寒 沢	55	55	110	42	2.6
市 街	1,134	1,374	2,508	1,186	2.1
中 歌	26	23	49	25	2.0
見 晴 町	92	143	235	71	3.3
湯 の 沢	10	8	18	6	3.0
箸 別	54	72	126	52	2.4
舎 熊	188	213	401	191	2.1
阿 分	147	213	360	157	2.3
信砂・御料	65	64	129	53	2.4
計	2,024	2,473	4,497	2,051	2.2

注：見晴町は、老人ホーム明和園を含んでいます。

●男女別・年齢別人口

(令和2年3月31日)

年 齢	男	女	計	比 率
0～4歳	30	48	78	1.9%
5～9歳	78	62	140	3.3%
10～14歳	69	51	120	2.9%
15～19歳	89	77	166	4.0%
20～24歳	63	66	129	3.1%
25～29歳	65	68	133	3.2%
30～34歳	80	69	149	3.6%
35～39歳	88	92	180	4.3%
40～44歳	97	99	196	4.7%
45～49歳	138	123	261	6.2%
50～54歳	124	100	224	5.4%
55～59歳	143	147	290	6.9%
60～64歳	127	135	262	6.3%
65～69歳	171	239	410	9.8%
70～74歳	179	214	393	9.4%
75～79歳	148	206	354	8.5%
80～84歳	90	177	267	6.4%
85～89歳	83	159	242	5.8%
90歳以上	51	139	190	4.5%
合 計	1,913	2,271	4,184	100.0%

●住民基本台帳人口

(各年3月31日)

調査年	男	女	人 口 数	世 帯 数	1世帯当 たり人員
平成23年	2,397	2,812	5,209	2,545	2.05
平成24年	2,323	2,753	5,076	2,514	2.02
平成25年	2,316	2,747	5,063	2,547	1.99
平成26年	2,253	2,705	4,958	2,533	1.96
平成27年	2,192	2,630	4,822	2,460	1.96
平成28年	2,146	2,547	4,693	2,413	1.94
平成29年	2,072	2,465	4,537	2,368	1.92
平成30年	2,004	2,388	4,392	2,322	1.89
平成31年	1,953	2,330	4,283	2,273	1.88
令和2年	1,913	2,271	4,184	2,242	1.87

※住民基本台帳法の一部を改正する法律が平成24年7月9日に施行されたため、外国人登録制度は廃止され、外国人についても住民基本台帳の適用対象となりました。

3. 町議会 ・ 行政組織



議長 飛内 眞吾

副議長 小田 緑

町長 堀 雅志

副町長 石垣 芳夫

教育長 佐藤 敏治

● 歴代 議会議長

代位	氏名	就任年月日
1	加納 次太郎	昭和 21.10.27
2	池田 良作	22. 5.15
3	田谷 克三	30. 5.13
4	毛利 賢蔵	38. 5.10
5	本間 泰次	39. 1.23
6	北野 繁夫	46. 5. 6
7	小笠原 秀夫	47.12. 1
8	佐々木 清治	58. 5. 9
9	清野 勇	平成 11. 5. 7
10	佐藤 善一	23. 5. 9
11	飛内 眞吾	令和 元. 5. 8

● 歴代 議会副議長

代位	氏名	就任年月日
1	不明	
2	水戸 徳司	昭和 22. 5.15
3	堀川 寛一	25. 8.13
4	上原 福太郎	30. 5.13
5	毛利 賢蔵	34. 5. 8
6	本間 泰次	38. 5.10
7	佐々木 清治	39. 1.23
8	北野 繁夫	40. 4.30
9	佐々木 清治	46. 5. 6
10	川向 之夫	47.12. 1
11	富野 安造	58. 5. 9
12	南 博之	平成 11. 5. 7
13	佐藤 善一	15. 5. 8
14	岩崎 俊一	23. 5. 9
15	小田 緑	令和 元. 5. 8

● 歴代 町長

代位	氏名	就任年月日
1	藤山 逸夫	明治 33. 9.17
2	水谷 嘉一郎	37.12. 1
3	大浦 頼	大正 4. 4.12
4	御厨 三郎	8. 9. 3
5	石川 七郎	10. 9.17
6	勝田 誠一	13. 3.20
7	加納 宇平	昭和 8. 8.19
8	北畠 良一	12.12.30
9	尾谷 清四郎	16.12.20
10	中江 庄三郎	21. 2. 7
11	東尾 淡逸	22. 4. 8
12	中江 庄三郎	30. 5. 1
13	前田 尉太郎	38. 5. 1
14	本間 泰次	50. 5. 1
15	石崎 大輔	平成 11. 2.13
16	堀 雅志	27. 2.13

● 歴代 副町長(助役)

代位	氏名	就任年月日
1	樋口 金蔵	明治 33. 9.17
2	我孫子 利三郎	39.10.18
3	高橋 竜太郎	大正 4. 8. 6
4	田村 栄	12.11.20
5	佐藤 敬之助	13.12.27
6	東尾 淡逸	昭和 8.10.10
7	川口 時一郎	17. 7.10
8	青野 績	21. 5.31
9	安達 多仁治	22. 5.15
10	帰山 貢	24.10.28
11	前田 尉太郎	29. 5.27
12	長屋 清作	38. 8.19
13	大室 重二	46. 9.18
14	南 平作	52. 7. 1
15	三上 晴夫	平成 3. 5.21
16	朝倉 宜廣	11. 3. 5
17	佐藤 順治	15. 3. 5
18	酒井 倫明	23. 3. 5
19	石垣 芳夫	27. 4. 1

H19.4.1 名称変更

● 歴代 教育長

代位	氏名	就任年月日
1	帰山 貢	昭和 27.11. 1
2	米田 秀蔵	44. 4. 1
3	佐々木 孫作	52.10. 1
4	黒瀧 善雄	60.10. 1
5	別段 正道	平成 5.10. 1
6	佐藤 順治	13.10. 1
7	雨野 正治	15. 4. 1
8	尾池 宏実	21.10. 1
9	荻原 太康	25. 4. 1
10	佐藤 敏治	27. 4. 1

● 歴代 収入役

代位	氏名	就任年月日
1	長谷川 濟	明治 39. 9.20
2	和井内 喜之	41. 3.31
3	佐藤 平太郎	大正 5. 1.11
4	佐藤 兼次	13. 1.30
5	竹山 福三	昭和 7. 2. 2
6	末永 議資	13. 9.29
7	安達 多仁治	16. 2. 3
8	小杉 善一郎	22. 5.15
9	西川 勝二	30. 6.29
10	押味 清一	46. 9.18
11	梅田 忠夫	52. 7. 1
12	山崎 末吉	63. 4. 1
13	松本 弘	平成 5. 4. 1
14	村木 忠夫	11. 4. 1

※平成15年4月1日以降は副町長(助役)が兼掌

※平成19年3月31日で収入役制度は廃止

● 町議会審議の状況

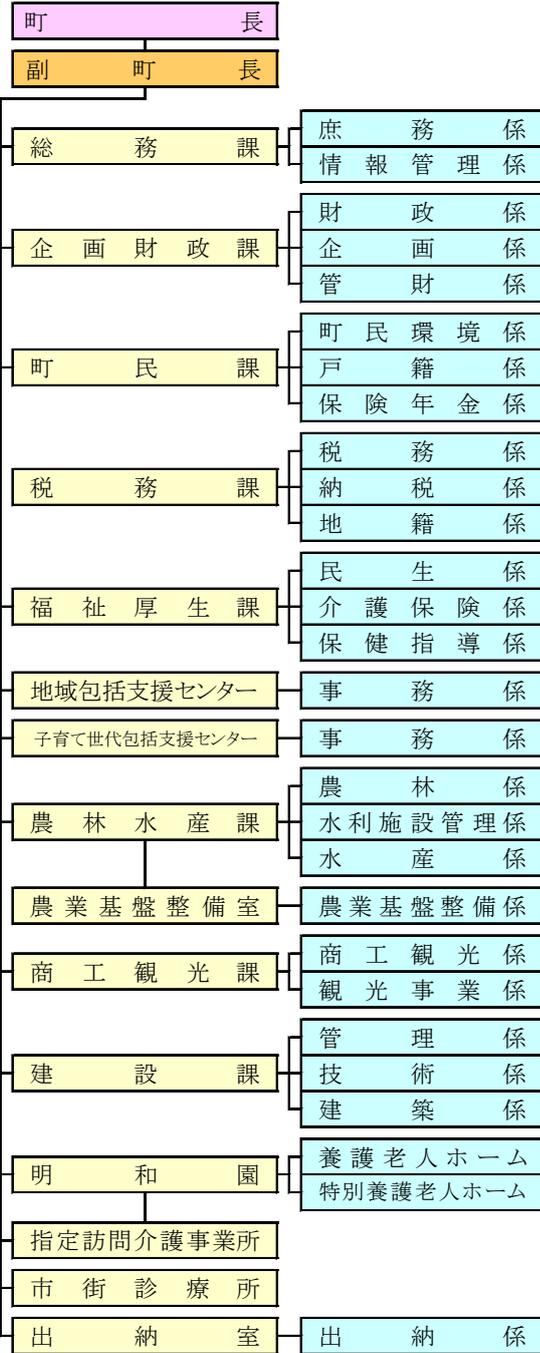
議会事務局調(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区分	開催回数	会議日数	審議案件							
			条例	予算	決算	専決処分	その他事件	計	決議意見書	請願陳情
定例会	4	7	30	41	11	-	18	100	6	3
臨時会	5	5	5	19	-	5	3	32	-	-
計	9	12	35	60	11	5	21	132	6	3

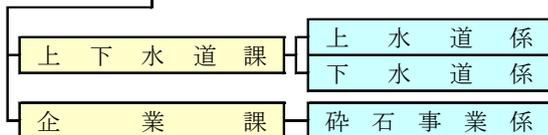
3. 町議会・行政組織

●行政組織

令和2年12月1日 職員数141人
(特別職を除き、消防職員を含む)



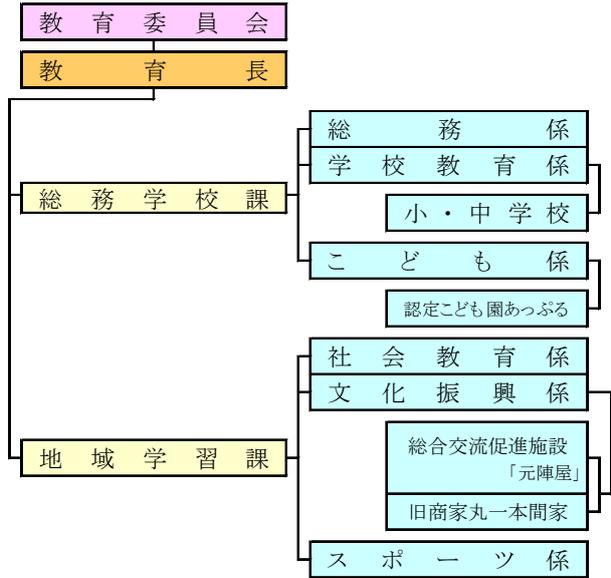
企業管理者(町長)



●各地域の指定状況

- 豪雪地帯対策特別措置地域 昭和46年10月2日 第41号
- 特定農山村地域 平成5年9月28日 第72号
- 過疎地域 平成22年3月17日 第3号

●教育委員会組織



各種委員会等事務局

- 議会事務局 ●選挙管理委員会事務局
- 監査委員事務局 ●農業委員会事務局

●議会議員

任期:令和元年5月1日~令和5年4月30日

議席	議員名	職業	党派	所属委員会	当選回数
1	合羽井 達男	会社役員	無所属	総務	1
2	川島 優	無職	無所属	産業	1
3	酒井 倫明	無職	無所属	総務○・議運○	2
4	大井 紀美恵	会社員	無所属	産業○	2
5	松倉 清道	会社役員	無所属	総務○・議運	3
6	上野 剛	無職	無所属	産業○・議運	4
7	菅原 幸弘	税理士事務所員	無所属	産業・議運	4
8	西山 征二	クリーニング取次	無所属	産業	5
9	岩崎 俊一	小売業	無所属	総務・議運○	7
10	小田 緑	会社役員	無所属	副議長・総務・議運	5
11	飛内 眞吾	漁業	無所属	議長	5

※総務-総務文教常任委員会/産業-産業厚生常任委員/議運-議会運営委員会
○委員長、○副委員長

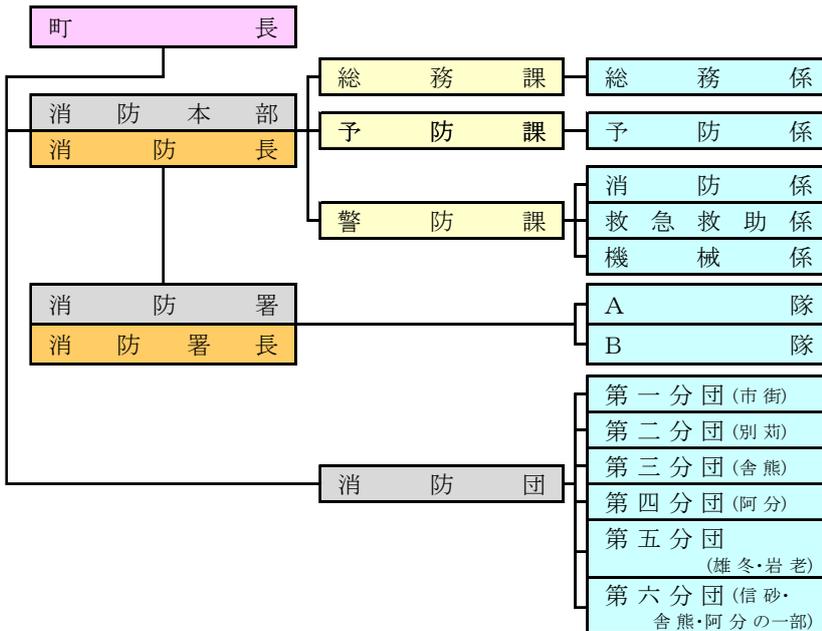
●選挙有権者

(町選挙管理委員会 毎年9月1日)

区分	投票区数	登録者数(人)		
		総数	男	女
平成28年	9	4,088	1,840	2,248
平成29年	9	3,956	1,779	2,177
平成30年	9	3,848	1,734	2,114
令和元年	9	3,748	1,688	2,060
令和2年	9	3,629	1,645	1,984

4. 消防・防災

●消防組織



●消防水利用

(令和2年12月1日)

消 火 栓	110
防 火 水 槽	47
消 防 用 水 路	3
その他の消防用 指 定 水 利	24

●消防人員

(令和2年12月1日)

職 員	区 分	人 数
職 員	司 令 長	1
	司 令 補	4
	司 令 補	5
	士 長	2
	副 士 長	4
	消 防 士	2
計		18
団 員	団 長	1
	副 団 長	2
	分 団 長	6
	副 分 団 長	7
	部 長	14
	班 長	27
	団 員	42
	計	99

●救急出動件数

区 分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
平成30年	0	0	2	13	1	0	43	0	2	155	12	228
令和元年	0	0	1	26	1	0	60	1	1	179	5	274
令和2年	0	0	0	5	3	1	29	0	1	134	7	180

●火災発生状況

区 分	火災 件数	損害額 (千円)	焼 失 面積 (㎡)
平成30年	2	130	2.30
令和元年	5	864	2,530.60
令和2年	3	20	462.00

●消防ポンプ自動車等の現有数

(令和2年12月1日)

消 防 署	大 型 水 槽 車	1
	水 槽 車	1
	消 防 ポ ン プ 付 救 助 工 作 車	1
	作 業 車	1
	指 揮 車	1
	救 急 車	2
消 防 団	小 型 ポ ン プ 付 積 載 車	5
	普 通 ポ ン プ 自 動 車	1

●指定緊急避難場所

No.	名 称	所 在 地
1	旧 阿 分 小 学 校	阿 分
2	旧 舎 熊 小 学 校	舎 熊
3	町道朱文別道路線・揚水機場の 上	舎 熊
4	箸 別 跨 線 橋 付 近 広 場 (町道箸別2号道路線の国道交点付近)	箸 別
5	湯 の 沢 会 館 付 近	箸 別
6	町 民 グ ラ ウ ン ド	見 晴 町
7	旧 増 毛 小 学 校 グ ラ ウ ン ド	見 晴 町
8	増 毛 中 学 校 グ ラ ウ ン ド	南 暑 寒 町
9	増 毛 小 学 校 グ ラ ウ ン ド	南 暑 寒 町
10	小 樽 間 内 会 館	別 荘
11	オ ー ベ ル ジ ュ ま し け	別 荘
12	岩 尾 温 泉 あ っ た ま ー 駐 車 場	岩 老
13	旧 雄 冬 自 然 体 験 館 グ ラ ウ ン ド	雄 冬

●指定避難所

No.	名 称	所 在 地
1	旧 阿 分 小 学 校	阿 分
2	元 阿 分 福 祉 会 館	阿 分
3	信 砂 生 活 改 善 セ ン タ ー	信 砂
4	旧 舎 熊 小 学 校	舎 熊
5	笹 沼 会 館	舎 熊
6	箸 別 生 活 館	箸 別
7	増 毛 中 学 校	南 暑 寒 町
8	文 化 セ ン タ ー	南 島 中 町
9	オ ー ベ ル ジ ュ ま し け	別 荘
10	小 樽 間 内 会 館	別 荘
11	海 音 寺	別 荘
12	大 別 荘 自 治 会 館	別 荘
13	岩 尾 へ き 地 保 健 福 祉 館	岩 老
14	旧 雄 冬 自 然 体 験 館	雄 冬

5. 産 業

増毛町は、ニシン漁を中心とする漁業で栄えましたが、昭和30年をピークに人口は減少し、昭和40年まで過半数を占めていた第一次産業の就業人口も減退していきました。過疎化に伴い、水産加工業を主とした製造業や、卸売・小売業も減少しておりますが、「増毛の歴史的建物群」が北海道遺産に指定されてからは、旧増毛駅周辺の観光客は増加傾向にあり、新しい飲食店が開業するなどの賑わいを見せ始めています。



5月下旬に開催される「春の味まつり」

●商業

(単位:人、百万円)

区 分	平成 24 年			平成 26 年			平成 28 年		
	卸売業	小売業	総 数	卸売業	小売業	総 数	卸売業	小売業	総 数
事業所数	7	44	51	9	41	50	7	41	48
従業員数	29	161	190	30	182	212	35	144	179
年間販売額	5,366	2,882	8,248	4,179	3,702	7,881	4,773	2,369	7,142

H24 「経済センサス」 2月1日現在

H26 「商業統計調査」 7月1日現在

H28 「経済センサス」 6月1日現在

●工業

(単位:人、万円)

区 分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
事業所数	9	9	9
従業員数	374	364	360
製品等出荷額	819,736	818,546	913,466

H28 「経済センサス」 6月 1日現在

H29 「工業統計調査」 6月 1日現在

H30 「工業統計調査」 6月 1日現在

●砕石生産高

町営黒岩砕石事務所分

(金額単位:千円)

区 分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	数量(m ³)	金額	数量(m ³)	金額	数量(m ³)	金額
切込砕石	6,861	13,045	12,610	21,334	10,852	18,834
篩砕石	5,258	15,069	6,873	19,243	9,263	25,712
割石	24,863	63,516	21,227	49,927	20,944	58,561
計	36,982	91,630	40,710	90,504	41,059	103,107

説明: 切込砕石…石粉の入っているもの / 篩(ふるい)砕石…石粉の入っていないもの
割石…大割・中割・小割・雑割

●観光客入込数

(単位:千人)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
267	328	306	305	312

●産業団体

(令和2年12月1日)

団 体 名	組合員及び 会員数	役員	職員
増毛漁業協同組合	119 (5)	11	16
南るもい農業協同組合 増毛支所	91	3	9
増毛水産加工協同組合	6	5	1
増毛町商工会	160 (15)	22	4

※ () は準組合員で内数

●産業別就業者数

(平成27年国勢調査)

分 類	業 業	男 女		計
		男	女	
第1次	農 業	106	95	201
	林 業	8	-	8
	漁 業	196	100	296
小 計		310	195	505
第2次	鉱 業	1	-	1
	建 設 業	189	21	210
	製 造 業	96	219	315
小 計		286	240	526
第3次	電 気 ・ ガ ス 熱供給・水道業	10	2	12
	通 信 ・ 運 輸 業	80	7	87
	卸 売 ・ 小 売 業 飲食店・宿泊業	118	193	311
	金 融 ・ 保 険 業	9	10	19
	不 動 産 業	3	2	5
	医 療 ・ 福 祉	49	206	255
	教 育 ・ 学 習 支 援 業	33	46	79
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	35	16	51
	サ ー ビ ス 業	77	35	112
	公 務 な ど	106	27	133
小 計		520	544	1,064
分 類 不 能 産 業		2	1	3
合 計		1,118	980	2,098

5. 産 業



増毛町は、北緯43度以北に位置しながらも、日本海を流れる対馬海流による温暖な気候と、暑寒山麓に囲まれた扇状地帯の良質な水に恵まれているため、果樹と稲作を中心に農業が営まれています。

果樹は、さくらんぼ、りんご、ブドウ、洋梨など、甘味と旨味の良い果物が収穫されています。

また、お米は、「ななつぼし」や「ゆめぴりか」の作付けをしています。

●年齢別世帯員数

区分	14歳以下	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	計
男	11	3	8	15	10	12	39	29	127
女	10	2	9	8	5	23	31	25	113
計	21	5	17	23	15	35	70	54	240

「2015年 農林業センサス」(販売農家のみ・家族経営の世帯員)

●農作物の作付け面積・収穫量

区分	平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
水 稲	255	1,170	243	1,050	233	1,180
そ ば	133	72	130	26	129	120
馬 鈴 薯	0	6	0	6	0	6

「北海道農林水産統計年報」

●経営耕地面積規模別経営体数

区 分	0.3ha未満	0.3～1.0ha	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0～20.0ha	20.0～30.0ha	30.0ha以上
販売農家	80	-	13	10	16	14	12	3	2
自給的農家	4								
計	84								

「2015年 農林業センサス」

●森林面積

(令和2年4月1日/単位:ha)

区 分	総数	国有林	道有林	町有林	私有林
森 林 面 積	33,270	11,253	14,634	1,587	5,797
天然林	25,258	9,152	12,495	673	2,939
人工林	5,295	919	890	855	2,631
無立木地	2,717	1,182	1,248	59	228

※端数処理のため、総数と内訳が一致しない場合があります。

●航路標識

(令和2年12月1日)

名 称	所 在 地	塗 色 と 構 造	灯 質	灯 高 (水面上)	実 効 光 度	光 達 距 離 (海 里)	開 設 年 月
増 毛 灯 台	弁 天 町	白地に赤横帯1本 塗塔形(コンクリート造)	単 閃 白 赤 互 光 毎16秒に白1・赤1閃光	46 m	白光 140,000 cd 赤光 24,000 cd	白光 18.5 赤色 16.0	明治23年12月
増毛港北防波堤灯台	増毛港北防外端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	14 m	78 cd	5.0	昭和4年5月
雄冬港島防波堤北灯台	雄冬港島防北端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	15 m	78 cd	5.0	昭和51年10月
別苅港北防波堤灯台	別苅港北防外端	赤色塔形(コンクリート造)	単閃赤光/毎4秒に1閃光	14 m	25 cd	3.5	平成元年11月

※1海里は、約1.850m

●経営耕地別面積

区 分	面積 (ha)	割合 (%)	
田	稲作を行った	286.0	51.62
	稲作以外	95.0	17.15
	何も作らなかつた	6.0	1.08
	小 計	387.0	69.86
畑	普通畑	49.0	8.84
	牧草専用地	13.0	2.34
	何も作らなかつた	7.0	1.26
	小 計	69.0	12.45
樹園地	98.0	17.69	
合 計	554.0	100.0	

「2015年 農林業センサス」

5. 産 業



増毛町は、江戸時代中期から豊富な水産資源に恵まれ、漁業のまちとして栄えてきました。現在は、えび・たこ・鮭・カレイなどの漁業を中心とし、特に甘えびは航空便輸送により鮮度が保たれ、都市部においても高い評価を得ています。

近年の漁業をめぐる環境や、後継者不足という問題対策のために、磯焼け対策、栽培漁業の推進、新たな漁場の造成や後継者育成のための経営基盤の強化などに取り組んでいます。

●年齢別漁業就業者数

区分	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	計
男女計	3	34	28	29	22	19	24	159

〔2018年 漁業センサス〕

●船種別入港船舶

区分	隻数	総トン数
商船	0	0
漁船	12,023	114,992
その他	255	56,956
避難船	0	0
計	12,278	171,948

〔令和元年度 地方港湾 増毛港分〕

●漁船隻数〔登録漁船〕

動力船 (t)	隻数
～ 0.9	92
1 ～ 2.9	17
3 ～ 4.9	37
5 ～ 9.9	11
10 ～ 19.9	15
20 ～ 49.9	0
50 ～ 99.9	0
100 ～	0
総隻数	172

●魚種別漁獲高

区分	数量		金額		
	トン	%	千円	%	
魚類	さけ	132	2.65	48,590	2.07
	ます	0	0.01	210	0.01
	たら	333	6.66	56,599	2.41
	すけそうたら	38	0.76	2,162	0.09
	ほっけ	60	1.19	4,429	0.19
	ひらめ	23	0.46	13,432	0.57
	かれい	532	10.64	96,931	4.13
その他魚類	153	3.05	30,666	1.31	
小計	1,271	25.42	253,019	10.77	
水産動物	うなぎ	86	1.72	145,463	6.19
	えび	430	8.60	570,498	24.28
	いか	8	0.16	5,770	0.25
	たこ	571	11.42	353,850	15.06
	なまこ	30	0.61	152,355	6.49
かに	1	0.02	4,703	0.20	
小計	1,126	22.53	1,232,639	52.47	
貝類	あわび	2	0.03	8,055	0.34
	ほたて貝	910	18.21	244,780	10.42
	ほたて稚貝	1,670	33.41	604,206	25.72
	その他貝類	20	0.40	6,625	0.28
小計	2,602	52.05	863,666	36.76	
合計	4,998	100.00	2,349,324	100.00	

〔令和元年〕

●港勢

港名	陸揚量		経営体 (組合員数) (人)	漁家 戸数 (戸)
	数量(t)	金額(千円)		
地方港湾 増毛港	4,313.0	1,855,212	56	49
4種漁港 雄冬漁港	54.0	44,029	11	11
1種漁港 岩老漁港	98.0	76,094	7	5
別荘漁港	518.0	354,363	48	37
阿分漁港	16.0	19,626	6	6
計	4,999.0	2,349,324	128	108

〔令和元年〕

●さけ 親魚捕獲・稚魚放流・採卵実績

〔単位：親魚〔尾〕 稚魚〔千尾〕 採卵〔千粒〕〕

区分	年次	暑寒別川	信砂川	計
親捕獲魚数	30	18,778	16,636	35,414
	元	14,016	17,193	31,209
稚放流魚数	2	16,537	15,038	31,575
	30	9,217	5,511	14,728
採卵数	元	9,200	5,400	14,600
	2	10,811	5,586	16,397
元	30	12,000	11,973	23,973
	元	10,462	13,823	24,285
2	7,202	10,846	18,048	

6. 福祉・医療・保健



増毛町は、全国、全道と比べ高齢化が進んでおり人口のおよそ45%が65歳以上となっています。

しかし、水産加工や果樹業など、高齢者になっても働き手として必要とされる仕事が多く、高齢者が社会の担い手となって活躍しています。その様な中、全国、全道よりも高い各種健診受診率と、町民の生活実態に寄り添った健康づくりによって、健康寿命の延伸を図り、生涯現役のまちづくりを進めています。

●生活会館・各センター

(令和2年12月1日)

施設名	規模	所在地	設置年月日	
生活会館等	箸別生活館	163 m ²	箸別133番地の8	昭和47. 7. 28
	中歌生活館	97 m ²	見晴町4番地の3	昭和50.10. 28
	元阿分福祉会館	315 m ²	阿分226番地の10	平成元. 8. 3
	中歌協和会館	228 m ²	中歌204番地の5	昭和51. 9. 20
	谷地町会館	129 m ²	別荘605番地の31	昭和53.12. 14
	大別荘会館	165 m ²	別荘96番地	昭和58.10. 8
	津田屋会館	167 m ²	別荘78番地の26	昭和60.11. 7
	朱文別会館	155 m ²	舎熊199番地の2	平成 2.12.10
	雄冬生活館	314 m ²	雄冬43番地の1	平成 2.12.10
	はまなす会館	211 m ²	暑寒町2丁目88番地	平成 4. 3. 7
農集村会生活設	暑寒沢会館	139 m ²	暑寒沢418番地の1	平成 4. 9.10
	阿分会館	372 m ²	阿分116番地	平成20. 4. 1
	湯の沢会館	74 m ²	箸別981番地	昭和49. 8. 6
信砂生活改善センター	234 m ²	信砂581番地の11	昭和52.10. 1	
漁村センター	549 m ²	港町46番地の2	昭和54.10.22	
老人福祉センター	588 m ²	南島中町2丁目27番地の1	昭和56.11.27	
舎熊寿の家	100 m ²	舎熊253番地の3	昭和53. 9.25	
岩尾へき地保健福祉館	166 m ²	岩老171番地	昭和43. 8.30	

●福祉寮

(令和2年12月1日)

施設名	人数(人)			所在地	設置年月日
	定員	入居	管理人		
老人福祉寮やすらぎ荘	6人	5人	2人	南永寿町3丁目284番地	昭和53. 9. 25

●町立養護・特別養護老人ホーム明和園入所者数

(令和2年12月1日)

年齢別	養護(人)			特別養護(人)			計
	男	女	小計	男	女	小計	
70～79歳	2	1	3	1	3	4	7
80～89歳		10	10		6	6	16
90～99歳	1	9	10	1	17	18	28
100歳以上		1	1		3	3	4
計	3	21	24	2	29	31	55

●市街診療所及び雄冬へき地診療所診療状況

年度	市街診療所				雄冬へき地診療所	
	入院		外来		外来	
	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数
平成29年度	1,749	4.8 (365)	15,521	63.9 (243)	285	11.9 (24)
平成30年度	2,457	6.7 (365)	14,329	58.9 (243)	274	11.4 (24)
令和元年度	1,901	5.2 (366)	10,952	45.1 (243)	220	9.2 (24)

※(括弧)はそれぞれの診療日数を記載しています。

※市街診療所外来患者数には、明和園の診察者数を含んでいます。

●社会福祉団体

(令和2年12月1日)

団体名	団体数	会員数
民生委員協議会	1	23
老人クラブ	7	141
母子会	1	12
遺族会	1	24
増毛町社会福祉協議会	1	353
身体障害者福祉協会	1	39
ボランティアセンター	1	32
生きがい活動事業団	1	38

●被保護世帯・人員調

(令和2年4月1日)

区分	世帯数・人数
被保護世帯数	65 世帯
被保護人員	90 人

●生活保護費支出額

(令和元年度)

区分	金額(千円)
生活扶助費	36,360
住宅扶助費	8,473
教育扶助費	126
介護扶助費	4
医療扶助費	1
生業扶助費	158
葬祭扶助費	0
計	45,122

6. 福祉・医療・保健

●国民健康保険加入状況

(令和2年3月31日)

総世帯数	被保険者世帯数	加入率
2,150	617	28.70 %
総人口	被保険者数	加入率
4,092	943	23.04 %

●介護保険加入状況

(令和2年11月30日)

総人口	被保険者数	加入率
4,034	1,849	45.84 %

介護サービス受給者数	335 人
居宅介護サービス	230 人
地域密着型サービス	34 人
施設介護サービス	71 人

●後期高齢者医療加入状況

(令和2年11月30日)

総人口	被保険者数	加入率
4,092	1,054	25.76 %

●後期高齢者医療療養給付状況

(令和元年度)

区分		給付件数	金額(千円)
療養給付費	入院	1,444	795,912
	入院外科	15,269	271,580
	調剤	10,012	220,210
	食事療養	1,342	45,178
	生活療養	33	2,212
訪問看護	33	2,212	
療養費等		148	2,568
高額療養費		2,927	58,722
高額介護合算療養費		110	1,731
計		31,285	1,398,113

※北海道の後期高齢者医療「事業概要書」より

●国民年金適用状況

(令和2年11月30日)

第1号被保険者	第3号被保険者	任意加入被保険者	合計
319 人	186 人	4 人	509 人

●国民健康保険給付状況

(令和元年度)

区分		給付件数	金額(千円)
療養諸費	療養給付	13,934	303,082
	療養費	150	1,036
	審査支払手数料	14,279	689
高額療養費		725	47,331
出産育児費		3	1,260
葬祭費		6	180
計		14,818	353,578

●介護保険給付状況

(令和元年度)

区分		給付件数	金額(千円)
居宅介護サービス費		5,982	307,833
地域密着型介護サービス費		393	66,095
施設介護サービス費		877	192,013
居宅介護サービス計画費		2,598	31,603
福祉用具購入費		32	966
住宅改修費		27	2,099
高額介護サービス費等		1,174	12,316
高額医療合算介護サービス費		107	3,449
特定入所者介護サービス費		824	27,059
審査支払手数料		9,640	588
計		21,654	644,021



●国民年金給付状況

(令和元年度)

区分		給付件数	金額(千円)
新法	老齢基礎年金	1,735	1,219,179
	障害基礎年金	88	73,311
	遺族基礎年金	3	2,233
旧法	5年年金	2	806
	老齢年金	49	26,057
	通算老齢年金	26	7,943
	障害年金	3	2,535
計		1,906	1,332,064

●生活習慣病予防の受診状況

区分	胃がん検診				大腸がん検診				乳がん検診				子宮がん検診				肺がん・結核検診		特定健康診査			
	対象者数	受診者数	受診率(%)	2年連続受診者数	対象者数	受診者数	受診率(%)	2年連続受診者数	対象者数	受診者数	受診率(%)	2年連続受診者数	対象者数	受診者数	受診率(%)	2年連続受診者数	対象者数	受診者数	受診率(%)			
平成29年度	1,370	251	18.3	241	1,877	398	21.2	966	255	286	185	36.9	1,244	331	26.6	231	1,877	357	19.0	766	481	62.8
平成30年度	472	160	33.9	153	566	225	39.8	308	128	117	90	50.3	342	126	36.8	79	566	221	39.0	739	485	65.6
令和元年度	435	145	33.3	130	520	202	38.8	282	108	92	76	44.0	318	96	30.2	66	520	195	37.5	709	439	61.9

※がん検診の受診率対象者は40～69歳(胃がんは50～69歳、子宮がんは20～69歳)で、胃がん乳がん子宮がん検診は2年毎の受診率で算出。

※対象者は以前は健診申込書による調査で計上、H27年度からは一律人口、H30年度からは国保被保険者となったため、受診率が変動しています。

7. 生活環境



● 上水道・簡易水道

(令和2年3月31日)

	増毛上水道	阿分簡易水道	雄冬簡易水道	岩老簡易水道	別荘簡易水道	
事業開始年月日	S26.12.1	S49.6.17	S39.11.1	S39.11.1	S57.9.1	
計画給水人口(人)	5,500	600	460	230	930	
現在給水人口(人)	3,584	181	43	19	353	
給水戸数(戸)	1,912	96	26	11	197	
施設内容	導水管延長(m)	6,007	—	575	641	1,748
	配水管延長(m)	52,677	3,961	1,473	557	6,885
	送水管延長(m)	2,945	520	—	—	—
	配水池容量(m ³)	1,310	64	70	17	183
契約件数(件)	2,050	99	51	24	248	
消火栓(本)	80	9	4	3	10	
年間総配水量(m ³)	723,249	13,796	5,071	4,707	41,410	
年間有収水量(m ³)	537,116	11,758	3,136	4,260	27,451	
有収率(%)	74.26	85.23	61.84	90.50	66.29	
給水能力(m ³ /日)	3,000	108	69	35	270	
排水量	一日平均(m ³)	1,982	38	14	13	114
	一日最大(m ³)	2,471	64	26	33	183
料金	基本水量	8	8	8	8	8
	基本料金	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
	超過料金	230	230	230	230	230
	メーター使用料	400	400	400	400	400

※料金は、家事用(消費税含)で表示(単位:千円)。メーター使用料は13mmとして記載。

● 公営住宅

(令和2年12月1日)

区分	戸数	入居戸数
公営住宅	236	210
改良住宅	44	43
特定公共賃貸住宅(単身)	18	18
単独住宅	15	14

● 畜犬登録状況

区分	登録数
平成29年度	207
平成30年度	206
令和元年度	204

● 公共下水道

区分	全体計画	認可計画
施工年度	平成6～令和11年	令和2～6年
計画区域面積	133.4 ha	109.6 ha
計画処理人口	2,360 人	2,470 人
排除方式	分流式	分流式
管渠延長(汚水)	24,307 m	23,847 m
ポンプ場	1ヶ所	1ヶ所
処理方式	オキシデーションデイチ法	
処理計画能力	晴天時最大 1,740 m ³ /日	
敷地面積	206 アール	

● 火葬場使用状況

区分	ましけ葬苑	町外
平成29年度	37	51
平成30年度	29	52
令和元年度	51	59

● 公共下水道接続状況

(令和2年3月31日)

完成予定	令和11年
下水道接続戸数	978 戸
下水道接続率	74.69 %
下水道処理人口	1,903 人
下水道普及率	60.90 %

● 浄化槽設置状況

(令和元年度)

区分	単独浄化槽	合併浄化槽	計
5～10人槽	172	126	298
11～50人槽	33	9	42
51人槽以上	2	17	19
計	207	152	359

● ごみ・し尿処理状況(排出・収集量)

年度	ごみ	し尿
平成29年度	1,047 t	2,122 kl
平成30年度	990 t	2,133 kl
令和元年度	954 t	2,016 kl
処理方法及び収集種別	埋立処 428 t	生し尿 1,025 kl
	その他 526 t	浄化槽汚泥 991 kl

7. 生活環境

●道路延長

(令和2年12月1日)

区分	路線数	実延長(km)	舗装済延長	舗装率(%)
町道	213	162.90	80.46	49.39
一般国道	1	33.51	33.51	100.00
主要道道	1	19.87	19.87	100.00
一般道道	2	11.43	9.95	87.05
計	217	227.71	143.79	63.15

※一般国道(231号線)

※主要道道(増毛稲田線94号)

※一般道道(増毛港線301号、暑寒別公園線546号)

●ロードヒーティング状況

(令和2年12月1日)

路線名	車道部(m)
2丁目通線	14.25
4丁目通線	48.60
弁天通線	92.10
第一火防線通線	115.60
役場通線	145.40
雄冬1号道路線	39.10
計	455.05

※弁天通線は、一部2丁目通り交差点部20.0mを含む。

●バス利用状況

沿岸バス本社調

年度	路線等	
	留萌別荘線 (※1)	特急はぼろ号 (※2)
平成29年度	111,547	4,604
平成30年度	109,749	4,803
令和元年度	110,477	4,390

※1 留萌-増毛-大別荘-雄冬間の乗降者数

※2 札幌-増毛間の乗降者数

●たばこ消費量

年度	消費量 (千本)	1人当り たり(本)
平成29年度	7,179	1,815
平成30年度	6,761	1,804
令和元年度	6,343	1,748

※1人当たりの消費量については、当該年の有権者数(9月1日現在)により算出しています。

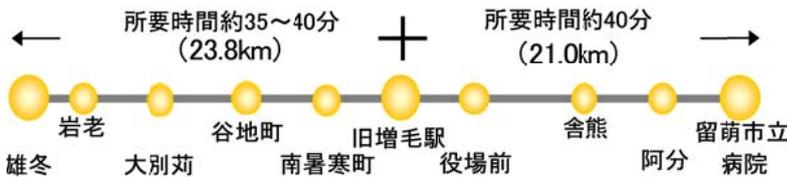
●酒別消費量

留萌小売酒販組合調(令和元年度)

種類	消費量 (千ℓ)	割合 (%)	1人当り たり(ℓ)
清酒	9,090	7.38	2.50
合成清酒	111	0.09	0.03
焼酎	11,271	9.14	3.11
ビール	58,090	47.13	16.01
発泡酒	5,908	4.79	1.63
果実酒	3,065	2.49	0.84
甘味果実酒	93	0.08	0.03
ウイスキー	959	0.78	0.26
ブランデー	104	0.08	0.03
スピリッツ	3,749	3.04	1.03
リキュール	27,645	22.43	7.62
その他	3,164	2.57	0.87
計	123,249	100.00	33.96

※1人当たりの消費量については、当該年の有権者数(9月1日現在)により算出

●バス経路(雄冬～旧増毛駅～留萌市立病院)



●電話加入数

NTT調

(令和2年3月31日)

サービス区分	契約数
加入電話	1,102
INSサービス	64
公衆電話	9

●預貯金及び貸出金残高

(令和2年3月31日 単位:千円)

預貯金高			貸出金高			
流動性・当座性 預貯金	定期性 預貯金	計	割引手形	手形貸付	その他	計
9,403,179	54,383,706	63,786,885	10,000	2,443,534	4,560,023	7,013,557

●車両等種類別台数

(令和2年3月31日)

区分	乗用車			乗合用			貨物			特種(殊)用途			軽自動車			二輪車			原付			総計		
	普通車	小型車	計	普通車	小型車	計	普通車	小型車	計	特種車	大型特種車	小型特種車	乗用車	貨物車	計	小型二輪	軽二輪	計	一種	二種	計			
台数	714	777	1,491	5	10	15	95	171	2	268	71	57	217	345	568	308	876	46	75	121	82	11	93	3,209

8. 教育



〈こども園〉

平成31年4月より、増毛幼稚園とあつぷる保育所を統合した「ましけ町立認定子ども園」となりました。

〈小学校〉

平成27年3月に別荘小学校と阿分小学校、28年3月に舎熊小学校が閉校となり、現在は増毛小学校のみとなっています。

また、増毛小学校は、平成24年4月に、北海道遺産に指定されている昭和11年築の木造校舎から、旧増毛高等学校(平成23年3月閉校)校舎へ移転しています。

〈中学校〉

平成20年3月に増毛第二中学校が閉校となり、現在は増毛中学校のみとなっています。

● 中学卒業後の状況

年 度		男	女	計	
平成29年度卒業		24	11	35	
平成30年度卒業		18	16	34	
令和元年度卒業		16	20	36	
元年度内訳	進学	道内	16	20	36
		道外	-	-	-
	専門学校等	道内	-	-	-
		道外	-	-	-
就職	町内	-	-	-	
	町外	-	-	-	
無業		-	-	-	

● こども園

(令和2年5月1日)

園 名	学級数	教職員数	園 児 数			園舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
認定こども園 あつぷる	5	27	36	38	74	鉄筋 コンクリート	南島中町2丁目35番地2	平成31

● 小学校

(令和2年5月1日)

校 名	学級数	教職員数	児 童 数			校舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
増毛小学校	10	29	91	67	158	鉄筋 コンクリート	南暑寒町2丁目38番地 (平成23年校舎移転)	明治11

● 中学校

(令和2年5月1日)

校 名	学級数	教職員数	生 徒 数			校舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
増毛中学校	5	22	38	33	71	鉄筋 コンクリート	南暑寒町5丁目123番地 (平成12年新築)	昭和33

● 高等学校通学費補助状況

年 度	補 助 人 数	補助総額 (千円)
平成29年度	70	6,425
平成30年度	72	6,464
令和元年度	71	6,170

[平成28年 教育委員会達第1号]

● 奨学金貸与状況

年 度	大 学 生			高 校 生	貸 与 総 額 (千円)
	短大生・ 専門学校生	専門学校生	高 校 生		
平成30年度	6	5	1	3,276	
令和元年度	5	5	1	2,988	
令和2年度	5	5	2	3,096	

[昭和34年 条例第20号]

生涯学習の取組みとして、町民全般では「町民スクール」の開催、女性領域では「さくらコミュニティ学級」の運営、高齢者領域では「暑寒大学」の運営など、様々な事業を行っています。また、重要文化財の旧商家丸一本間家や総合交流促進施設「元陣屋」、体育館や屋内グランドなどの文化・スポーツ関係施設の充実を図り、町民一人ひとりが心豊かな生活を送れるよう努めています。



9. 各種施設(利用状況)

●社会教育・体育施設等

施設名	構造・規模	所在地	設置年月日
増毛町立体育館	鉄骨造一部2階建 1,586.59 m ²	南畠中町3丁目 56番地の1	昭和 48. 12. 22
増毛町文化センター	鉄筋コンクリート2階建 2,215.45 m ²	南畠中町2丁目 25番地	昭和 52. 2. 1
増毛町温水プール	鉄骨造一部2階建 1,002.2 m ²	南畠中町3丁目 56番地の1	昭和 55. 5. 1
暑寒別岳スキー場	6コース総延長 5,880 m	暑寒沢 527番地の1外	昭和 55. 11. 1
テニスコート	全天候型4面 3,576.96 m ²	別荘459番地外	昭和 60. 5. 1
創作の館	木造平屋建 129 m ²	南永寿町2丁目 77番地の1	昭和 63. 6. 27
屋内グラウンド	鉄骨造平屋建 2,503.33 m ²	南暑寒町5丁目	平成 2. 4. 1 平成 4. 10. 12増築
増毛町総合交流促進施設「元陣屋」	鉄筋コンクリート2階建 1,794 m ²	永寿町4丁目 49番地	平成 8. 4. 1
旧商家丸一本間家	木骨石造2階建(一部3階建) 1,237.83 m ²	弁天町1丁目 27番地	平成 12. 4. 1
パークゴルフ場	27ホール 12,644.25 m ²	暑寒町1丁目 暑寒別川右岸	平成 14. 4. 1 平成 29. 6. 16増設

●町立体育館

年度		開館日数	利用者数
平成 29 年度		305	6,522
平成 30 年度		303	6,605
令和 元 年度		305	6,039
元年度内訳	一般利用	小学生 中学生 高校生 一般	203 458 110 529
	小計		1,300
団体内利用	剣道		1,591
	ミニバレー		787
	サッカー		1,957
	テニス その他		44 360
小計			4,739

●元陣屋

年度	開館日数	利用者数
平成 29 年度	308	9,683
平成 30 年度	307	8,904
令和 元 年度	307	8,325
元年度内訳	展示室等入館者	1,335
	図書室	6,135
	婦人文化室	306
	郷土文化伝承室	549

●旧商家丸一本間家

年度	開館日数	利用者数
平成 29 年度	188	8,209
平成 30 年度	185	9,855
令和 元 年度	186	7,670
令和 2 年度	151	4,023
元年度内訳	小学生・中学生	120
	高校生	31
	一般	3,872

●屋内グラウンド

年度	開館日数	利用者数
平成 29 年度	304	10,203
平成 30 年度	300	10,576
令和 元 年度	306	9,701
元年度内訳	小学生	5,041
	中学生	858
	高校生	149
	一般	3,653

●温水プール

年度	開館日数	利用者数
平成 29 年度	124	3,511
平成 30 年度	126	3,281
令和 元 年度	125	3,734
令和 2 年度	99	2,352
2年度内訳	中学生以下 高校生・大学生	1,377 5
	一般	970

●文化センター及び「ら・さんて」

年度	文化センター	ら・さんて
平成 29 年度	24,451	5,588
平成 30 年度	24,986	6,387
令和 元 年度	23,433	5,089

※「ら・さんて」は、宿泊施設内にある健康増進施設

●創作の館

年度	開館日数	利用者数
平成 29 年度	111	652
平成 30 年度	112	566
令和 元 年度	84	489

●その他の施設等

年度	岩尾温泉	スキー場	ゴルフ場	キャンプ場	登山
平成 29 年度	18,149	110,656	6,187	5,045	3,242
平成 30 年度	17,369	113,303	6,212	4,824	3,358
令和 元 年度	16,812	113,146	6,406	5,245	3,119

※スキー場は、リフト乗車の延べ人数

10. 財政

●一般会計予算決算

<歳入>

(単位:千円)

科 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	当初予算	決 算	当初予算	決 算	6月補正後再算	決 算	当初予算	決 算
町 税	356,918	378,934	368,998	378,172	359,243	374,099	365,668	372,168
地 方 譲 与 税	40,100	41,213	38,600	41,013	39,000	41,294	40,000	45,686
利 子 割 交 付 金	700	406	600	726	600	601	600	305
配 当 割 交 付 金	1,800	754	900	1,034	900	811	900	1,000
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,000	454	600	1,050	800	703	800	654
地 方 消 費 税 交 付 金	93,000	83,449	77,000	85,650	84,000	87,044	84,000	82,352
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,800	1,657	1,300	1,732	1,100	1,520	1,100	1,547
自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,600	7,208	5,700	10,531	6,000	9,470	5,000	4,707
地 方 特 例 交 付 金	500	397	300	488	400	504	500	9,132
地 方 交 付 税	2,455,667	2,643,302	2,478,625	2,529,350	2,383,900	2,434,898	2,357,708	2,400,662
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	500	—	500	—	500	—	500	0
分 担 金 及 び 負 担 金	109,922	93,809	102,123	91,518	93,558	77,690	119,749	90,956
使 用 料 及 び 手 数 料	132,737	133,288	131,785	131,889	117,277	115,146	116,599	117,231
国 庫 支 出 金	219,257	298,368	186,429	272,658	244,423	245,487	148,178	203,966
道 支 出 金	160,463	196,233	169,391	180,744	187,031	190,519	233,232	243,142
財 産 収 入	10,510	11,887	13,398	19,641	12,584	18,968	15,126	18,534
寄 附 金	200,060	688,400	300,060	552,432	300,060	367,020	300,060	320,719
繰 上 金	180,340	189,012	168,841	157,866	445,400	347,862	155,000	252,081
繰 越 金	10	89,614	10	87,197	10	55,863	10	51,570
諸 収 入	108,616	116,674	106,640	114,596	92,914	89,503	95,070	126,416
町 債	575,500	543,687	372,200	391,969	436,300	424,871	353,200	455,463
環 境 性 能 割 交 付 金	—	—	—	—	—	—	0	1,359
計	4,656,000	5,518,746	4,524,000	5,050,256	4,806,000	4,883,873	4,393,000	4,799,650

<歳出>

(単位:千円)

科 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	当初予算	決 算	当初予算	決 算	6月補正後再算	決 算	当初予算	決 算
議 会 費	49,056	48,536	51,138	48,371	48,458	47,957	48,438	47,442
総 務 費	426,697	1,111,158	597,681	1,020,220	561,726	644,680	559,254	654,307
民 生 費	1,070,425	1,097,260	794,204	770,922	802,988	782,594	739,474	771,302
衛 生 費	296,093	302,263	323,792	334,627	335,522	342,016	338,494	388,179
労 働 費	7,189	5,876	8,453	7,519	7,655	8,259	8,209	6,871
農 林 水 産 業 費	189,993	249,930	202,645	196,518	237,096	223,892	353,200	298,304
商 工 費	137,270	159,201	154,385	160,326	140,484	140,132	116,742	136,138
土 木 費	434,903	377,544	489,923	522,113	680,159	699,723	396,658	475,351
消 防 費	27,624	26,618	65,235	55,135	116,234	29,478	27,333	118,109
教 育 費	411,664	389,730	265,905	259,081	303,854	297,164	289,783	320,430
災 害 復 旧 費	2,000	1,544	2,000	3,644	2,000	16,248	2,000	23,263
公 債 費	750,075	746,716	735,286	732,797	723,156	720,975	671,127	669,448
職 員 給 与 費	845,011	819,684	825,353	833,324	838,668	831,817	834,288	835,959
予 備 費	8,000	—	8,000	—	8,000	—	8,000	0
計	4,656,000	5,336,060	4,524,000	4,944,597	4,806,000	4,784,935	4,393,000	4,745,103

●指数等の状況

(単位:千円、%)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
基 準 財 政 需 要 額	2,736,260	2,638,503	2,623,321
基 準 財 政 収 入 額	407,849	407,758	407,790
標 準 財 政 規 模	2,951,213	2,845,683	2,799,047
基 金 積 立 金 現 在 高	3,292,604	3,136,297	3,300,181
地 方 債 現 在 高	5,558,763	5,213,170	4,973,487
経 常 収 支 比 率 (全 体)	87.9	90.3	91.7
起 債 制 限 比 率 (3 年)	4.7	7.0	7.1
公 債 費 負 担 比 率	19.3	19.4	17.9
財 政 力 指 数 (3 年)	0.143	0.148	0.153
ラ ス バ イ レ ス 指 数	94.3	95.5	95.1

※決算統計より。地方債現在高は一般会計及び特別会計の合計額

●健全化判断比率

(令和元年度決算)

区 分	実 質 赤 字 比 率	連 結 実 質 赤 字 比 率	実 質 公 債 費 比 率	将 来 負 担 比 率
増 毛 町	—	—	10.8	—
早 期 健 全 化 基 準	15.0	20.0	25.0	350.0
財 政 再 生 基 準	20.0	30.0	35.0	—

該当なしは、「—」で表示

10. 財政

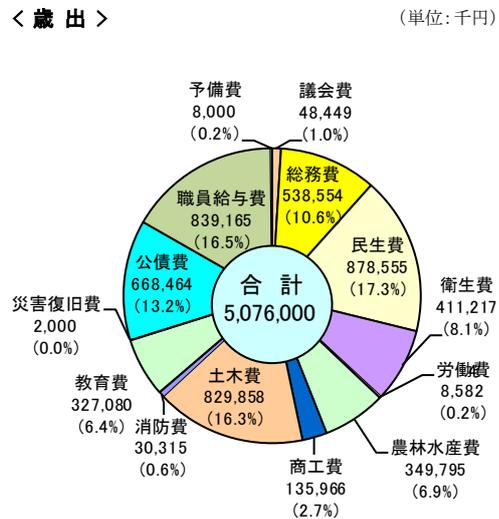
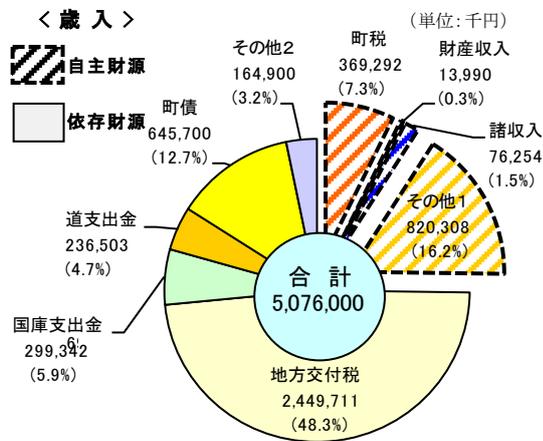
●特別会計等

(単位:千円)

科 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
国民健康保険	745,892	717,211	743,779	704,469	552,842	513,641	557,054	514,415
観光施設事業	54,716	54,716	52,015	52,015	54,242	54,242	57,226	57,226
診療所事業	220,457	220,457	205,583	205,583	224,366	224,366	227,305	227,305
公共下水道事業	201,329	201,329	263,240	263,240	217,106	217,081	262,844	262,844
介護保険	937,650	900,399	917,185	904,709	921,607	897,909	943,961	920,095
後期高齢者医療	78,128	77,935	77,506	75,024	90,898	90,800	87,028	86,803
港湾整備事業	—	—	—	—	15,840	15,840	17,553	17,553
計	2,238,172	2,172,047	2,259,308	2,205,040	2,061,061	1,998,039	2,152,971	2,086,241
水道事業	152,290	140,430	150,799	135,345	150,875	140,043	147,420	135,587
簡易水道事業	22,587	19,996	21,031	18,766	19,953	19,060	19,717	17,976
砕石事業	191,302	197,043	231,895	238,658	254,678	310,331	272,808	271,100
計	366,179	357,469	403,725	392,769	425,506	469,434	439,945	424,663

※水道・簡易水道及び砕石事業については収益的収支のみ(税込)

●令和2年度当初予算 一般会計



●町税の内訳

(単位:千円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
町民税個人	165,969	171,861	171,848
町民税法人	25,822	21,851	19,467
固定資産税	141,874	136,278	136,994
軽自動車税	7,568	7,880	8,053
町たばこ税	36,938	36,229	35,806
計	378,171	374,099	372,168

●ふるさと納税寄附金

(単位:件、千円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数	42,153	25,108	21,009
金額	551,173	366,420	320,416

11. 町民の暮らし

●人口・・・4,116人 ●世帯数・・・2,225戸 R2.12.31	●人口密度 R2.12.31 11.1人/km² (総面積 369.71 km ²)	●世帯人口 R2.12.31 1.8人 1世帯当たり	●出 産 令和2年 21人 1ヶ月に1.8人	●死 亡 令和2年 89人 1ヶ月に7.4人
●結 婚 令和2年 7組 1ヶ月に0.6組	●離 婚 令和2年 5組 1ヶ月に0.4組	●転 入 令和2年 75人 1ヶ月に6.3人	●転 出 令和2年 113人 1ヶ月に9.4人	●町 税 令和2年度 102,254円 町民有権者1人当たり
●町議会議員 R2.12.31 11人 人口374人に1人	●町職員 R2.12.31 123人 (消防職員を除く) 人口33人に1人	●消防職員 R2.12.31 117人 (団員含む) 人口35人に1人	●教職員 R2.5.1 51人 (小・中学校) 児童生徒4人に1人	●児童生徒 R2.5.1 229人 (小・中学校) 1世帯に0.1人
●救急出動 令和2年 180件 1ヶ月に15件	●交通事故 令和2年 66件 1ヶ月に5.5件	●乗用車 R2.3.31 2,059台 1世帯に0.9台	●給水量 令和元年度 382㎥ 給水人口1人1日当たり	●ごみ収集量 令和元年度 954t 1日に2.6t

増毛町のあゆみ

- 1706 宝永 3 松前藩藩士・下国氏の商場知行地となる。
- 1751 宝暦 元 松前の商人、村山伝兵衛(能登国出身)が松前藩より増毛場所を請負。この地に出張番屋を設け交易始まる。これが増毛の地に和人が定着した始まりである(開基の起源)。運上屋氏神弁天社建立。
- 1794 寛政 6 マシケ運行屋(後の駅通)が設けられる。
- 1806 文化 3 幕史・遠山、村垣北方調査で増毛巡検。近藤重蔵一行増毛に来行。増毛場所に馬匹初めて配送される。
- 1856 安政 3 秋田藩元陣屋設けられる。
- 1857 4 浜益～増毛間の山道竣工。
- 1868 明治 元 箱館府に属する。
- 1869 2 増毛郡、留萌郡共に山口藩の支配となる。
- 1871 4 山口藩の支配が終わり、開拓使の管轄となる。
- 1872 5 宗谷支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。増毛派出病院開設。
- 1873 6 留萌支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。
- 1874 7 増毛郡戸長役場設置。
- 1875 8 留萌支庁を廃止し、札幌本庁の直轄となる。増毛郵便局置かれる(M22 郵便電信局に改称)。私設火消組創設(～M27)。
- 1876 9 漁場持制を廃止、一般漁民への漁場・昆布場割渡し始まる。
- 1877 10 増毛・別荘に戸長役場できる。辨天・稲葉・野塚・永壽・七源・畠中・暑寒の7町で市街地を形成する。
- 1878 11 増毛小学校創立。札幌警察署増毛分署開設(M15 増毛警察署として独立)。
- 1879 12 大小区制廃止、郡区町村を編制。公立増毛病院置かれる。留萌郡役所設置(翌年開所)。
- 1880 13 永寿町2丁目で大火、100 余戸焼失(6 月 24 日)。
- 1881 14 留萌郡役所、増毛に移り増毛郡役所となる(留萌・天塩・中川・上川・苫前・増毛6郡を管轄)。
- 1882 15 開拓使が廃止、道内が函館・札幌・根室の3県に分けられ増毛郡は札幌県に属す。増毛治安裁判所開設。別荘小学校創立(H27.3 閉校)。朱文別沢にて水稻試作。丸一本間(現在の国稀酒造)創業。
- 1883 16 阿分小学校(H27.3 閉校)、舎熊小学校創立(H28.3 閉校)。暑寒沢でリンゴ植付け。増毛に遊郭設置許可。
- 1885 18 札幌県増毛監獄支署できる。
- 1886 19 三県・北海道事業管理局を廃止し、北海道庁設置される。増毛水産組合創立。三井銀行増毛出張所開店。
- 1887 20 暑寒沢に開拓者入地。
- 1888 21 増毛郡役所焼失、弁天町3丁目に新築移転。増毛～小樽間定期船運行開始。
- 1889 22 治安裁判所を増毛区裁判所に改称(S22 旭川地方裁判所増毛支部と改称)。信砂に開拓者入地。増毛郵便電信局設置され、電信事務開始(M36 増毛郵便局に改称)。雄冬事件(海馬島付近の漁獲争奪)発生。
- 1890 23 鯨(ニシン)漁獲高6万石に達す。増毛灯台初点(12 月)。浜益郡と増毛郡の境界を「ヲフイ」に決定する。
- 1891 24 雨竜～信砂間の山道竣工し、仁奈良駅通設置(M36.11 廃止)。競馬場開設。この頃から明治 36 年頃まで「鯨百万石時代」。
- 1892 25 1丁目暑寒橋流失、3丁目に架替。雄冬小学校(H14.3 閉校)、歩古丹小学校創立(S46.3 閉校)。
- 1893 26 増毛～留萌間客馬車開通。永寿町2丁目で火災発生、30 余戸焼失(12 月 8 日)。第二火防線に水道敷設。
- 1894 27 増毛～留萌間道路工事着工。私設火消組合解散し、増毛消防組合に改組。
- 1895 28 武好駅通設置。
- 1897 30 増毛税務署開庁。道庁官制改正により増毛郡役所を廃止し増毛支庁設置。岩老小学校創立(S62.3 閉校)。
- 1898 31 小樽銀行増毛支店開設。雄冬事件の入会漁場裁定。
- 1900 33 一級町村制施行、増毛町役場開設。第1回町議会議員選挙執行。増毛病院が町立となる。信砂小学校創立(H18.3 閉校)。増毛産業組合設立。信砂御料農地への移住・開拓始まる。
- 1902 35 増毛町農会設立。増毛土木派出所開所(～T3)。武好駅通新築。
- 1903 36 別荘谷地町の大火、70 数戸類焼(5 月)。
- 1905 38 畠中町4丁目の遊郭大火、100 戸類焼(11 月 13 日)。
- 1906 39 増毛と札幌・小樽間に電話開通。

- 1907 40 信砂御料小学校創立(S52.3 閉校)。増毛支庁舎焼失(5月25日)。内務大臣・原敬来町。増毛漁業組合設立。大暴風雪・波浪で町内被害甚大(12月6日)。
- 1914 大正 3 増毛支庁を留萌に移行、留萌支庁と改称。
- 1916 5 増毛市街に電燈つく。暑寒沢でりんごのデリシャス種試作。
- 1919 8 暴風のため鯨漁船遭難し45人溺死(4月12日)。
- 1920 9 第1回国勢調査。新信砂小学校創立(S49.3 閉校)。
- 1921 10 留萌～増毛間の鉄道開通(11月5日)。
- 1928 昭和 3 増毛港第1期漁港工事完成。
- 1929 4 別苺村古茶内120町歩の造田。
- 1933 8 デリシャス種を東京へ初出荷。
- 1936 11 増毛尋常小学校新校舎(旧増毛小学校校舎)落成。笹沼の農地解放。
- 1940 15 町立増毛実科高等女学校創立(S24.3 閉校)。北洋無尽(株)代理店(現在の北洋銀行)営業開始。
- 1941 16 増毛町森林組合設立(S27 法人登録)。太平洋戦争始まる。
- 1943 18 増毛町農業会設立。
- 1945 20 米軍機による雄冬村空襲(7月15日)。太平洋戦争・日中戦争終結。樺太からの引揚げ船・小笠原丸殉難(8月22日)。
- 1946 昭和 21 信砂川鉄橋で列車転覆事故(3月14日)。増毛灯台全焼。中歌海水浴場開設。
- 1947 22 新学制施行により新制小学校・中学校の義務教育発足。増毛第一中学校(S33.3 廃校)・増毛第二中学校創立(H20.3 廃校)。
- 1948 23 旭川地方裁判所増毛支部廃止。信砂御料茶々沢で雪崩遭難18名死亡(3月6日)。増毛病院道立移管。増毛実科高等女学校を町立増毛高等学校と改称(S29 道立移管)。増毛町農業協同組合設立。町広報初号発刊(12月)。
- 1949 24 新增毛灯台完成。増毛漁業協同組合設立。映画「ジャコ万と鉄」公開。
- 1950 25 増毛第一中学校から別苺中学校(S33.3 閉校)・岩老中学校(S62.3 閉校)・雄冬中学校(H14.3 閉校)が分離独立。信砂御料中学校創立(S52.3 閉校)。増毛高等学校定時制課程設置(～S57)。
- 1951 26 公営木造住宅10戸建設。増毛町農業委員会設立。増毛町社会福祉協議会設立。
- 1952 27 雄冬漁港着工。雄冬灯台設置。増毛町教育委員会設置。鯨回遊減少。
- 1953 28 岩老漁港着工。増毛町商工会設立。
- 1954 29 増毛高校道立移管(H23.3 閉校)。台風15号による大被害(9月26日)。留萌信用金庫増毛支店開店。町内自治会結成。
- 1955 30 市街地上水道竣工。増毛町土地改良区設立(～S57 解散)。国勢調査で人口16,768人と最高を記録。
- 1956 31 私立ルンビニ園創立(S35 増毛ルンビニ幼稚園開園～S54.3 閉園)。増毛水族館開館(S39 閉館)。メルボルン五輪レスリングで池田三男が金メダル、浅井正と桂本和夫が入賞。
- 1958 33 増毛中学校創立(増毛第一中学校と別苺中学校統合)。留萌～札幌間国道231号線、別苺より着工。別苺漁港着工。
- 1961 36 道立増毛高等学校が全焼(翌年に校舎新築)。
- 1962 37 暑寒別岳一円が道立自然公園(第8番目)に指定。国道231号岩尾～雄冬間着工(S38 完成)。
- 1963 38 町立養護老人ホーム明和園新築落成。えび籠漁業が正式に制度化。
- 1964 39 山小屋「暑寒荘」完成。
- 1965 40 町営碎石事業開始(信砂)。別苺小学校新校舎落成(H29 取壊)。
- 1966 41 別苺保育所開所(H9.3 閉所)。
- 1967 42 開道百年記念に巖島神社が遺跡指定。道営箸別地区パイロット事業着手(S52 撤退)。舎熊小学校舎全面改築(H26 取壊)。信砂へき地保育所開所(H9.11 閉所)。
- 1968 43 町営碎石事業を暑寒沢村黒岩地区に移す。
- 1969 44 町総合庁舎新築、町立暑寒別ユースホテル新築落成(S58 暑寒沢に移転)。舎熊保育所開所(H9.3 閉所)。
- 1970 45 拓殖銀行増毛支店閉鎖。増毛町開基220年・町制施行70周年、総合庁舎落成記念式典挙行。増毛音頭作成。
- 1971 46 増毛電報電話局開局(ダイヤル式切替)。信砂川サケマスふ化場設置。増毛町概史発刊。暑寒別橋(1丁目通)完成。
- 1972 47 救急業務開始。町章制定。第1回増毛町秋味まつり開催(～H27)。



北海道遺産の旧増毛小学校 (昭和11年築)

1973	48	道立水産ふ化場増毛支場落成。信砂御料塵芥処理場完成。町立体育館開館。林内科医院開業(～H14)。
1974	49	増毛劇場雪害により破損。増毛町史発刊。暑寒海水浴場開設(～H22)。消防創立 100 周年記念式典。
1975	50	上水道施設新設(浄水場・取水施設)落成。増毛市街保育所開所(H8.3 閉所)。第 1 回増毛町夏びまつり開催(～H23)。
1976	51	道道増毛稲田線路線認定。増毛町の「色」「花」「木」「鳥」決定。
1977	52	「増毛町民の誓い」制定(2 月 1 日)。生活改善センター(信砂・雄冬)落成。コミュニティーセンター・勤労青少年ホーム落成。大相撲新十両、琴若関の市街パレード実施。第1回増毛町冬まつり開催。
1978	53	増毛小学校開校 100 周年。雄冬・岩老地区電話自動化(道内最後)。増毛駅車扱貨物取扱廃止。ましけ墓苑落成。増毛町民グラウンド設置。
1979	54	漁村センター落成。増毛幼稚園開園(H31.3 閉園)。スクールバスかもめ号初運行。温水プール設置。
1980	55	増毛町開基 230 年・町制施行 80 周年記念式典挙行。太陽熱・風力発電の自然エネルギー実用化。暑寒別岳スキー場開設。特別養護老人ホーム落成。
1981	56	町立岩尾公衆浴場開業。小水力発電実用化。町立市街診療所開設。町立老人福祉センター落成。映画「駅 station」公開。国道 231 号留萌-札幌間開通(11 月 10 日)。雄冬岬トンネル崩落(12 月 19 日)。
1982	57	阿分小学校新校舎落成。ミツバチによる受粉高配始まる。
1983	58	増毛町エネルギー科学館落成。リバーサイドパーク整備着工。清流橋完成。映画「魚影の群れ」公開。
1984	59	国鉄増毛駅無人化(2 月)。増毛町シーサイドホテル営業開始(～S62)。第1回増毛エネルギーフェスティバル開催(～S61)。
1985	60	バイオマス施設完成。道道稲田線開通(H2～通年供用)。
1986	61	アワビ中間育成センター運営開始。観光施設「陣屋展望台」開設。留萌南部森林組合設立。
1987	62	国鉄民営化。ホテル増毛営業開始。雄冬小中学校新校舎落成(岩老小中学校を統合)。増毛電報電話局廃止。第 1 回日本海オリンピック・トライアスロン大会開催(～H18)。さくらんぼ雨よけハウス初導入。
1988	63	リバーサイドパークフェスティバル開催。集中豪雨により信砂川氾濫し激甚災害指定(8 月 25 日)。創作の館設置。
1989	平成 元	増毛ゴルフ倶楽部増毛リンクスオープン。ましけグルメ'89 開催。きらら 397 の作付け始まる。町民スクール開始。
1990	2	明和園改築落成。町文化財に増毛厳島神社本殿(有形)、雄冬神楽(無形)を指定。屋内グラウンド落成。増毛町開基 240 年・町制施行 90 周年記念式典挙行。暑寒別・天売焼尻国定公園指定(第 55 番目)。
1991	3	増毛第二中学校新校舎落成。JR留萌本線増毛～深川間ワンマン運転。市街地流雪溝完成。
1992	4	増毛～雄冬間定期航路閉航(4 月 30 日)。リバーサイドミュージックフェスタ開催。屋内グラウンド増築。国道231号大別荘～歩古丹間新ルート開通(通年供用開始 10 月 22 日)。暑寒別岳スキー場ペアリフト増設。
1993	5	増毛ヘリポート開港。「広報ましけ」1000 号発行(6 月号)。町内の電話番号二桁化。大別荘除雪ステーション落成。地籍調査事業開始(～H18)。りんご・洋梨ジュース製造。
1994	平成 6	ニューオートキャンプ場オープン。増毛港プレジャーポイント(ノールマリーナましけ)供用開始。溪流の森完成。増毛消防創設 120 周年記念式典挙行。市街地公共下水道事業着手。暑寒別川氾濫(5 月 27 日・8 月 17 日)。
1995	7	信砂小学校新校舎落成。増毛町保健センター「健康一番館」落成。国道 231 号増毛バイパス着工。
1996	8	増毛町総合交流促進施設「元陣屋」落成。増毛高等学校新校舎落成。住民票・印鑑証明自動交付機設置。第 15 回全国消防操法訓練大会出場。
1997	9	防災行政無線放送開始。増毛(あつふる)保育所開所(H31.3 閉所)。国道 231 号増毛バイパス完成(12 月 18 日)
1998	10	管理型一般廃棄物処分場供用開始。在宅介護支援センター開設。増毛町字界改正事業実施。
1999	11	雄冬岬展望台・岩石公園オープン。増毛中学校新校舎落成。豪雨により暑寒別川氾濫(7 月 28～29 日)。暑寒別岳スキー場第1リフト開設(ペアリフト)。増毛町ホームページ開設。
2000	12	北海道有形文化財に旧商家丸一本間家指定(4 月開館)。増毛町下水道管理センター通水式(下水道供用開始)。町制施行 100 周年記念式典挙行。多目的広場メモリアルパーク 100 落成。水産加工業で中国人研修生受け入れ。
2001	13	ごみ分別収集開始。北海道遺産に「駅前歴史的建物群と増毛小学校」指定。
2002	14	南るもい農業協同組合発足。雄冬小中学校閉校。学童保育事業開始。
2003	15	ごみ処理の有料化実施。岩尾温泉「あつたま～る」開業。町内(53 局圏内)で ADSL サービス開始。

- 留萌南部三市町任意合併協議会設立(留萌市・増毛町・小平町)。国の重要文化財に旧商家丸一本間家指定。
- 2004 16 ニシン豊漁。留萌南部三市町合併協議会設立(翌年解散)。台風 18 号の被害甚大(9 月 8 日)。
- 2005 17 国道 231 号日方泊トンネル全面開通。暑寒別ユースホステル閉館。
- 2006 18 「新增毛町史」発刊。信砂小学校閉校。ましけミクニ塾開講。第 20 回日本海オロン・トリアスロン国際大会閉幕。
- 2008 20 増毛第二中学校閉校。オーベルジュましけ開業。果樹類凍害。
- 2009 21 町立市街診療所大規模改修・医療機器の整備。舎熊小学校、旧第二中学校舎へ移転。
- 2010 22 町制施行 110 周年。増毛-留萌間鉄道開通 90 周年。
- 2011 23 道立増毛高等学校閉校。9 月集中豪雨による河川災害等。
- 2012 24 増毛小学校、旧増毛高校舎へ移転。増毛えび地酒まつり開催。別荘小学校開校 130 周年。町内で光回線サービス開始。
- 2013 25 舎熊小学校、阿分小学校開校 130 周年。屋内グラウンドに人工芝導入。
- 2014 26 道営農地整備事業、信砂地区で開始(翌年から朱文別・湯の沢・別荘地区開始)。
- 2015 27 別荘小学校、阿分小学校閉校。爆弾低気圧により秋サケ定置網損壊(10 月 2 日)。
- 2016 28 舎熊小学校閉校。増毛町秋の味まつり開催(秋味まつりから名称変更)。JR 留萌本線留萌～増毛間廃線(12 月 4 日)。
- 2017 29 公共ヘリポート廃止。健康運動施設「ら・さんて」オープン。増毛駅増築整備開始。
- 2018 30 彫刻家・五十嵐威暢氏製作「テルミヌスへの誓い」設置。増毛駅舎リ・ボーンセレモニー開催(4 月 22 日)。
北海道有形文化財に増毛厳島神社本殿と奉納絵馬 7 点指定。女優・倍賞千恵子講演会開催。
増毛春の味まつり開催(えび地酒まつりから名称変更)。北海道遺産に「増毛山道と濃昼山道」指定。
北海道胆振東部地震で町内震度 4、全域停電(9 月 6 日)。郷土の味覚を楽しむ会開催。
- 2019 平成 31 認定こども園あつぷる開園。園児 81 人でスタート(4 月 10 日)。
- 令和 元 北海道日本ハムファイターズ増毛町応援大使(西川遙輝、杉浦稔大選手)によるトークショー開催(11 月 19 日)。
66 年ぶりに群来。雄冬漁港が乳白色に染まる(3月)。
- 2 町制施行 120 周年。
新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、増毛春の味まつりをはじめ多くの事業が中止、延期となる。

フォトギャラリー (フォトコンテスト2020 入選作品)



最優秀賞「春の暑寒別川」(佐藤心一さん)



優秀賞「たそがれるなら、海でしょ。#増毛町へ行こう」
(小野卓也さん)



優秀賞「令和に咲く」(山本卓矢さん)



優秀賞「夜更けの街角」(加藤明彦さん)



入選「夜の魅力」(平澤里菜さん)



入選「夕波」(龍川悠平さん)



入選「黄昏ファミリー」(増井道英さん)



入選「かじわ丸」(林祈吏さん)



● 町 章

限りない本町の発展を表現したもので、「増毛」の文字を形象化し、町民の団結と円満な明朗融和の精神を象徴しています。

● 町名の由来

ニシンが群来ると海面一面に鷗が飛ぶところから、アイヌ語で「カモメの多いところ」という意味の「マンケイ」が転じたものであるといわれています。

● 町の花 / サクラ (オオヤマザクラ)

バラ科サクラ属ヤマザクラの一種。

花弁が広く、淡紅色の花はヤマザクラより濃く美しく、新緑の山合いの中では、登山におとずれた人々の目を楽しませます。自然に恵まれた私たちの町を象徴する花です。



● 町の木 / ナナカマド

バラ科ナナカマド属の落葉小高木。

春には爽やかな香りを放ち、秋には真っ赤な実を結びます。材質は堅く燃えにくいいため、カマドに七度入れても灰にならないことから、この名がついています。北国に生きる私たちの粘り強さを表すにふさわしい木です。



● 町の鳥 / カモメ (ウミネコ)

チドリ目カモメ亜科の海鳥。

他のカモメが冬鳥として飛来するのに対して、ウミネコだけは日本で繁殖します。白を基調とし青灰色と黒のコントラストが海の青さにマッチし、美しい海岸によく似合うカモメは、海を愛する増毛町民が大切にしている鳥です。



● 町の色 / 青 (vivid blue: ビビッドブルー さえた青)

※町の色・花・木・鳥 [昭和 51 年 11 月 3 日 (告示第 30 号) 指定]

● 町民の誓い (昭和 52 年 2 月 1 日 制定)

わたくしたちは、美しくそびえる暑寒の連峰と無限に広がる日本海にいだかれた増毛町の住民です。

わたくしたちは、風雪に耐えて郷土を開いた先人の遺業をしのび、輝かしい歴史と伝統を受け継いで、この町に住むことを誇りに思っています。

わたくしたちは、愛する郷土の発展を願い、より豊かな町づくりを目指して、ここに町民の誓いをさだめます。

1. からだを鍛え、仕事にはげみ、明るい町をつくります。
1. きまりを守り、力を合わせ、住みよい町をつくります。
1. 自然を愛し、環境をととのえ、美しい町をつくります。
1. 心ゆたかに、文化を高め美しい町をつくります。
1. 資源を生かし、未来をひらき、生きがいのある町をつくります。



〈かもめのマーシーくん〉

増毛町のマスコットキャラクターとして、公募により
平成2年に誕生しました。
平成26年11月に商標登録しています。

増毛町町政要覧資料編 令和3年

令和3年1月

発行：北海道増毛町

編集：企画財政課企画係

電話：0164-53-1111（代表）

0164-53-1110（課直通）